

アイリスが韓国で供給強化、生産・物流新拠点稼働

Edited By LogisticsToday On 2019/03/25



アイリスオーヤマは22日、韓国の仁川広域市に物流センター機能を備える家電生産工場「仁川工場」を竣工した。同国のインターネット通販の売上拡大を背景に、サーキュレーターなどの家電製品の販売が好調に推移していることから、最新の自動化設備を導入した工場で家電製品の生産を強化する。

韓国における同社の物流拠点は、新拠点が稼働したことで京畿道軍浦市にある既存物流センターとの2拠点体制が整う。今後は販売先や配送先が同国全域に広がるインターネット通販の物流効率を高めていく。

この数年で、生活用品メーカーから家電メーカーへと変わった。これからは仁川工場で、収納用品だけでなく家電製品も内製化を図っていく。私たちはこの韓国市場の中で、今後もEコマースを中心に積極的に展開する。

アイリスグループの大山健太郎会長

新拠点に配備された自動倉庫は2万6560パレットの収容能力を備え、中国の大連工場で生産したLED照明やクリーナー、炊飯器などを含む製品在庫を保管して多様なニーズに対応する供給体制を敷く。米中貿易摩擦に伴う中国の対米国輸出の追加関税を考慮し、一部の家電製品は米国への輸出も視野に入れてグローバル展開上のリスク分散を図る。

仁川工場の概要

所在地：仁川広域市松島洞215-1

敷地面積：2万7619平方メートル

建物総面積：4万4662平方メートル

自動倉庫：2万6560パレット

総投資金額：70億円（土地20億円、建物・設備50億円）

生産アイテム：家電製品（サーキュレーター、布団乾燥機、空気清浄機）、収納用品

販売計画：50億円（初年度）

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト：<http://www.logi-today.com>

URL to article：<http://www.logi-today.com/338531>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.